

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(5/8)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区 (島根県益田地区広域市町村圏事務組合)	3.5	4.4 進捗度 ・路網整備と計画的施業の推進 99% ・地域資源を活用した農村定住・交流促進 94% ・高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖 158%	3.6 規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業 ・特定農業者による特定酒類の製造事業 等 財政支援等 ・山村境界基本調査 地域独自の取組 ・森林資源活用事業 壊れない作業路網整備事業 等	3.0	<p>・計画初年度ということもあって全般的にはよい成果が挙げられている。</p> <p>・新規就農者人数は、伸びているものの、実績値が目標値を大きく下回り、目標値との乖離が大きくなっていくことが懸念される。鳥獣害への対応など営農への阻害につながるものへの取組努力については評価することができる。</p> <p>・水質浄化に向けた多様な取り組みがなされている一方で、仔アユの流量が依然低調であるのは残念であり、原因調査が必要ではないか。</p> <p>・山と清流を観光資源として活用すべき。支援団体の組織の仕方も、海外も含めた地域外の環境保全団体との結びつきを強めていく必要がある。そのことでまとまった数の人間の呼び込みも可能となる。</p> <p>・計画全体としての整合性にやや欠けるように思われる。森林の適正な管理と生産システムの構築と他の項目とが、どのように関連してくるのが分かりにくい。木材需要をどのように開発するかをもう少し考える必要がある。外国人観光客の呼び込みと特定酒類の製造、高津川の清流がリンクするような戦略にする必要がある。</p>